

平成23年3月

# 梅津靖江 学位論文審査要旨

主 査 前 田 隆 子  
副主査 池 田 匡  
同 吉 岡 伸 一

## 主論文

看護学生と看護職の思いやり行動と自我状態の比較

(著者：梅津靖江、吉岡伸一)

平成23年 米子医学雑誌 62巻 掲載予定

# 学 位 論 文 要 旨

## 看護学生と看護職の思いやり行動と自我状態の比較

思いやり行動は、医療現場を始め、人を相手とする専門職において必要なものである。看護教育では、学生に単に知識や技術を教えるだけでなく、人間性や思いやりを育むことが求められているが、看護職に必要とされる思いやりが、看護教育の中で育まれるものなのか、あるいは職業を通じて身についていくものなのか、明らかにされていない。そこで本研究では、看護専門学校に通う看護学生と病院に勤務する看護職を対象に思いやり行動と自我状態を比較することで、思いやりが育くまれる過程について検討した。

## 方 法

対象は、鳥取県内の3年課程の看護専門学校2校の学生170名と鳥取県内2病院の看護職210名の計380名で、看護学生は2009年2月と3月に、看護職は2009年3月にそれぞれ調査した。思いやり行動の評価は、尾原の思いやり行動尺度（尾原の尺度）および菊池の作成した思いやり行動尺度大学生版の修正版（菊池の修正尺度）を用い、自我状態は、新版TEGⅡ（東大式エゴグラム）を用いて評価し、看護学生と看護職について比較した。また、看護職については年齢、経験年数とそれぞれの尺度との関係について検討した。

## 結 果

尾原の尺度の「相手の態度・表情を読み取る」、「相手の気持ちを察する」と「総計」は、看護学生が看護職に比べて有意に高く、一方、菊池の修正尺度の「親しくない友人や見知らぬ人、また見知らぬ病人などを含めた不特定な人」への思いやり行動「ソト」と「総計」は、看護職が看護学生に比べて有意に高かった。看護学生と看護職のエゴグラム・プロフィールを検証した結果、看護学生及び看護職ともに、養育的親の自我状態(Nurturing Parent ; NP) と順応した子どもの自我状態 (Adapted Child ; AC) が高く、批判的親の自我状態 (Critical Parent ; CP) と大人の自我状態 (Adult ; A) が相対的に低いN型を示し、さらに、看護職はCP、Aとともに自由な子どもの自我状態 (Free Child ; FC) が相対的に低かった。また、尾原の尺度の「相手の立場に立つ」、「相手の態度表情を読み取る」とCP、NP、A、FCとの間に有意な正の相関関係がみられ、「相手の気持ちを察する」との間では看護職のみNPとの間に有意な正の相関関係がみられた。菊池の修正尺度の「身近な

人」への思いやり行動「ウチ」とNP、FCとの間に、また、「ソト」とCP、NP、FCとの間に有意な正の相関関係がみられた。看護職の経験年数と思いやり行動と自我状態の関係では、尾原の「相手の立場に立つ」とCPとの間に有意な正の相関関係がみられ、ACとの間に有意な負の相関関係がみられたが、菊池の修正尺度との間には有意な相関関係は認められなかった。

## 考 察

今回、尾原の尺度の一部の得点は、看護学生が看護職に比べて高かったが、菊池の修正尺度の「ソト」は看護学生より看護職の方が高かった。その理由として、両尺度の思いやり行動を計測する内容が異なるためと考えられた。看護学生及び看護職のエゴグラム・プロフィールは、NPとACが高く、CPとAが相対的に低いN型であった。N型の特徴は、思いやりや協調性があるが、専門知識を活用し価値判断し、責任をとることが低く、また、現状を把握し、全体を統合し、洞察して、事実を確かめて対応することが低い傾向と考えられている。今回の調査対象の看護学生及び看護職ともに、理想の看護職でみられる養育的親を頂点とする「への字型」に近づけていく教育が必要と思われる。自我状態FCとACは看護学生の方が看護職に比べて高値であった。看護職は同僚間及び他職種との協調性を重視するため、周囲と順応し、自由な感情表出を抑制する傾向にあると考えられた。看護職の経験年数は、尾原の尺度の「相手の立場に立つ」と自我状態CPと正の相関関係がみられ、ACと負の相関関係がみられた。看護職は、経験を積むと「相手の立場に立つ」思いやりや責任感が高まるが、一方、協調性が低くなる可能性が示唆された。菊池と尾原の思いやり行動尺度と自我状態NPの間については、看護学生では尾原の「相手の気持ちを察する」以外で、また看護職では全てにおいて有意な正の相関関係がみられた。思いやる自我状態NPが高まることにより、思いやり行動が高まると考えられる。また、自我状態は思いやり行動を示すための支援方法の指標になりうると考えられ、今後の看護教育に活用できると思われる。

## 結 論

看護学生と看護職との間で思いやり行動や自我状態に有意な差がみられたが、エゴグラム・プロフィールはともにN型であった。思いやり行動尺度とNPの間に正の相関関係がみられたことから、自我状態NPを高める看護教育により思いやり行動が高まることが示された。今後、思いやりが看護教育の中で育つのか、職業を通じて身につくのか、同一集団の経時的な変化を追跡調査する必要性が示唆された。